第３学年２組学級活動（２）学習指導案

日時：令和５年７月１１日（火） 第５校時

場所：３年２組教室

**１　題材名**

　　思い込みによるネットトラブルの防止

　　エ　心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

　　(参考資料)LINE×静岡大学「楽しいコミュニケーション」を考えよう！「ネットトラブル回避編」

**２　題材設定の理由**

（１）生徒観

（略）

（２）教材観

「情報モラル教育」を行う上で、「ネットコミュニケーション・リテラシー」とともに、子どもたちがネット上のリスクを想像し、トラブルを回避できるような力を育てていくことが大切である。インターネットを使用する際は様々なことを想像する必要があり、そこでは「思い込み」によってトラブルにつながることも理解しなくてはならない。本教材は、こうした「思い込み」を体験しながら、SNSでのコミュニケーションや写真・動画の公開などによるネットトラブルに潜む「思い込み」とそれを回避するための「リスク想像のトレーニング」を実践的に学ぶことができる教材である。

（３）指導観

　　本授業では、身近にある「思い込み」を提示することで、自分自身のこととして考えさせたい。また、ももたろうの事例を挙げ、グループで意見交流することで、自分と他人では考え方や感じ方が異なることに気付かせ、インターネット上においても様々なことを想像する必要があることや、「思い込み」によってトラブルにつながる可能性があることに気付かせたい。また、リスクを回避するために必要なことをグループで話し合わせ、活発に他者との意見の交流を図り、今後の使用方法について考えを深めさせたい。授業後は家庭にプリントを持ち帰り、保護者と「思い込み」によるトラブルについて考え、コメントをもらうことで、保護者とともにSNSの使い方を見直す機会をつくりたい。

**３　研究主題との関連**

　　視点１　自己の課題として捉えることができる学習課題設定の工夫

　　　身近にある「思い込み」をクイズ形式で電子黒板に提示し、自身が「思い込み」を体験することで、自分事として課題意識を持つことができるようにする。

　　視点２　他者とのかかわりから、自分の考えの深化を図る表現活動の工夫

　　　ICT機器を効率良く活用し、グループでの意見交流や比較を通して、今後のネットコミュニケーションの使用方法について生徒自身の考えを深め、意思決定につなげる。

**４　本時の目標**

トラブルに潜む「思い込み」から、ネットコミュニケーションのリスクを想像し、インターネット上のトラブルを回避するために必要なことについて考える活動を通して、SNSの使用法について意思決定することができる。

**５　板書計画**

|  |
| --- |
| 「思い込み」によるトラブルをなくすためには？  4つの視点  ①　賛成する人の視点  ②　ふざけやすい人の視点  ③　信じやすい人の視点  ④　批判しやすい人の視点  まとめ  ・　３つの「思い込み」や「４つの視点」に特に注意してSMSを使用する。  ・  ・  いろいろな「思い込み」  ① 他の人も「自分と同じ気持ちだろう」と思いやすい  ②「考えやすいもの」だけで，「こうだろう」と思いやすい  ③「よく見るもの」を「多い」「正しい」と思いやすい |

・「思い込み」の事例や、共有したい意見に関しては、ロイロノート経由で電子黒板に提示する。

**６　学習過程（50分）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動・内容 | 時間 | 学習形態 | ◆　指導・支援の留意点  ◇研究の視点　　◎評価 |
| つかむ | １　身近にある「思い込み」の事例を提示し、「思い込み」を体験する。 | ５ | 一斉 | ◆　身近にある例を挙げ、「思い込み」とは何かを体験し、ネット上でトラブルにつながることを理解できるようにする。  ◇　身近にある「思い込み」をクイズ形式で電子黒板に提示することで、自分事として課題意識を持たせるようにする。　　　（視点１） |
|  | ２　学習課題を確認する。  「思い込み」によるトラブルをなくすためには？ | ２ | 一斉 |  |
| さぐる | ３　「思い込み」について、「ももたろう」の例から考える。  「もし、ももたろうがSNSで鬼退治を告知したらどんなトラブルが起きるだろう？」 | ８ | 一斉 | ◆　「ももたろう」の例を提示する。書き込みのあとに、どのような反応が返ってくるかを想像させることで、ネット上では、いろいろなことを想像する必要があることに気付けるようにする。  ◆　トラブルに潜む「３つの思い込み」があることを理解できるようにする。 |
| 見つける | ４　ネットコミュニケーションの「リスクの想像」を行う。（ワークシート）  （１）「もしSNSで鬼退治の成果を報告したら？」 | 10 | 個別  ↓  一斉 | ◆　「リスク見える化シート」を使い、「ありそうな」「起こりそうな」展開を、できるだけたくさん、いろいろな視点から考えることができるようにする。  ◆　ロイロノートで意見を共有する。  ◆　①賛成する人の視点、②ふざけやすい人の視  点、③信じやすい人の視点、④批判しやすい人  の視点の４つがあることに気付くことができるようにする。 |
|  | （２）「もし、SNSでクラスの合唱コンクールの成果を報告したら？」 | 15 | 個別  ↓  班  ↓  一斉 | ◆　「リスク見える化シート」を使い、４つの視点と自分の視点から整理することで、ネットコミュニケーションで大切な行動を見出すことができるようにする。 |
| 決める | ５　今までの自分のSNSの使い方を振り返り、意思決定する。  ・　「思い込み」によるトラブルをなくすためには、これからどのようなことに気を付ければよいのか考える。 | 10 | 個別 | ◆　生徒の意見をもとに、まとめる。  ◇　ICT機器を効率良く活用し、グループでの意見交流や比較を通して、今後の使用方法について、生徒自身の考えを深めることができるようにする。　　　　　　　　　（視点２）  ◎　「思い込み」や「リスクの想像」の必要性を理解し、今後のSNSの使用法について、具体的な目標を考えることができているか。  （ワークシート、発表） |

【事後の活動】

家庭にワークシートを持ち帰り、保護者と「思い込み」によるトラブルについて考え、保護者からコメントをもらう。親子で「思い込み」によるトラブルについて考えることで、SNSの使い方を見直す機会をつくることができるようにする。

情報モラル授業　　　ネットトラブルの回避について

～「思い込み」によるトラブルを防ぐには？～

　　　　　　　　　　　　　　　３年　　組　　番　名前

○「もし、ももたろうがSNSで鬼退治を告知したらどんなトラブルが起きるだろう？」

いろいろな「思い込み」のまとめ

○「もし、ももたろうがSNSで鬼退治の成果を報告したら？」

発信する前に「4つの視点」で想像してみよう。

○「もし、SNSでクラスの合唱コンクールの成果を報告したら？」

◎　今までの自分のSNSの使い方を振り返り、「思い込み」によるトラブルをなくすためには、

これからどのようなことに気を付ければよいのか。

保護者から

先生から